

「特別の教科 道徳」学習指導略案

第4学年

1. 主題名 「分かり合うために」 B 相互理解・寛容
2. 資料名 「つまらなかった」 (出典：光村図書「道徳4」)
3. ねらい

何気ない言葉を巡ってすれ違う二人の姿などを通して、互いに分かり合うのに大切なことを考えさせ、自分の思いを伝えるとともに、相手のことを理解し、信頼しようとする心情を育てる。

4. 展開

	学習活動 (○発問、☆中心発問) と児童の反応 (・)	◇指導上の留意点 ◆評価の視点
導入 3分	1 友達との関係で困ったことを振り返り、話し合う。 ○仲が良いはずなのに、相手の気持ちが分からない、気持ちが伝わってないと思うことはありますか？	◇友達に絞られないように、教師の側から家族や知り合い、友達、先生など、児童の周りにいる様々な人の例を出す。 ◇詳細は聞かずに経験があるかないかだけを想起させて挙手させる。
展開 35分	2 資料「つまらなかった」を読んで、話し合う。 資料の内容を確認する。 ○だまりこんださとしはどんなことを考えていたでしょうか。 ・自分と二人ではいやなんだな。 ・他のことで遊べば良いのに、ぼくの意見もきかなくて決めてしまうのはひどいな。 ○信二は、さとしがだまっていた理由をなんだと思っているのでしょうか。 ・分からない。 ・滑り台で遊びたかった。 ☆二人の会話のどこをどう変えたら行き違いが起きなかったのでしょうか。 信二 ・帰ることについて相談したらよかった。 ・2人でも楽しいが3人だとできることも増えるなど、みんなで遊びたかったことが伝わる言い方を考える。 さとし ・信二の態度がいやなことを伝える。 ・聞きたかったことをはっきりと聞く。	◇このとき、信二がつまらなさと答えた理由を全体で確認する。 ◇会話や態度に問題があったこと、二人の考えが擦れ違っていることを確認する。 ◇ワークシートを配布し、二人の会話をペアで話し合って修正させる。 ◆ここまで考えてきたことをもとに、自分事として自分の思いを伝えるとともに、独りよがりな考えではなく、相手と分かり合うための方法について考えようとしている。(発言・ワークシート・観察)
	3 自分の生活をふりかえる。 ○お互いが分かり合うために大切なことはなんでしょう。 ・言葉でしっかり伝える。 ・言葉の選び方を考える。	◆相互理解する方法について、自分の生活を振り返り、考えを深めようとしている。 (発言・ワークシート・観察)
終末 7分	4 「つなげよう」を読み、インターネット上のやりとりについて考える。 ○教科書のやりとりを読んで、考えたことを発表しましょう。	